



NPO×企業×市民 交流パーティー2026 ～ビジネスと社会貢献のクロスロード～

令和8年2月15日(日)、相模原市民会館「あじさいの間」にて、NPO×企業×市民 交流パーティー2026実行委員会の主催、NPO法人さがみはら市民会議とNPO法人市民ファンドゆめの芽の共催により、交流イベント「NPO×企業×市民 交流パーティー2026」が開催されました。参加者は約80名(NPO約30名、企業約30名、その他約20名)で、会場は開始直後から活発な交流が広がりました。本記事では、当日の様子をお伝えします。

オープニングから一気に“交流モード”へ

オープニングアトラクションでは、ミスターTKさんによるマジックが披露され、会場の空気が一気に和らぎました。続くアイスブレイク(1分)で参加者同士の距離が縮まり、その後は、主催者挨拶、来賓挨拶、趣旨説明へと進行。乾杯の発声を合図に、いよいよ歓談・交流の時間がスタートしました。

交流の時間は、まさに「名刺交換と挨拶が止まらない」状態。決まったテーマで語り合うというより、それぞれが関心のある相手に積極的に声を掛け、情報交換を重ねるスタイルで、会場のあちこちで新しい出会いが生まれていました。

29団体が“1分PR”で想いを届ける

交流の後半には 団体PRタイム を実施。今回は約 29団体が、1団体1分の持ち時間で活動内容や協力してほしいこと、今後チャレンジしたいことなどをスピーチ形式で発表しました。

1分という短い時間だからこそ、発表はどれも要点が明確でテンポよく、聞く側も「気になった団体をあとで捕まえに行く」動きにつながりやすい構成でした。

“応援”の投票と支援金の贈呈

PRタイム後は、参加者による投票を実施。投票は QRコード を活用し、29団体すべてを対象に、「応援したい団体」「共感した取組」の観点から投票が行われました。投票結果の発表後には、上位3団体に支援金が贈呈されました。支援金は、地域での活動を後押しするためのもので、金額は 1位 20,000円、2位 15,000円、3位 10,000円。参加者からの投票を通じて選ばれた団体に支援が届けられることで、「応援がそのまま次の活動につながる」流れが生まれていました。

来賓・関係者からのメッセージ

当日は、来賓として 石井副市長 からご挨拶をいただき、日頃の地域活動や市民協働への感謝とともに、今後の市民協働の推進(計画の見直し等)に向けた考えが述べられました。また、相模原青年会議所の廣田理事長からも、こうした交流の機会が重要である旨の言葉があり、官民それぞれの立場から、協働の意義が共有される場となりました。

最後は、大谷サポートセンター長からの挨拶、川井実行委員長からの御礼、市民会議佐藤代表閉会挨拶で締めくくられ、参加者は名残惜しそうに会場を後にしていました。



第1位は神奈川骨髄移植を考える会さんでした

地域活動・市民活動ボランティア認定制度

～127名及び16団体を認定しました～



詳細はQRから

相模原市では、地域貢献活動に積極的に参加した大学生および大学生で構成される団体に対して認定を行う「相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度」の認定証贈呈式を、令和8年2月6日（金）に開催しました。今回の贈呈式には、例年より多くの学生（認定者）が出席し、活気あふれる式典となりました。

今年度は、127名の学生と16団体が新たに認定を受け、学生によるボランティア活動の活発化が一層感じられる結果となりました。



土田美咲さん

認定証の贈呈が終了した後、認定者を代表して土田美咲（つちだみさき）さんからご挨拶をいただきました。土田さんは活動を通じて「地域にとって必要な存在でありたい。今後は、自分の経験や思いを後輩や多くの学生に伝えていきたい。」と語っていました。

認定された皆さま、学業の合間を縫ってボランティア活動に積極的に取り組んでいただき、ありがとうございました。



市長から一人一人に認定証の贈呈がされました



認定証贈呈式閉会后、認定者たちは仲間と集まり、記念撮影や交流を楽しみました。活動を通じて得た経験を共有し、今後の活動に対する意欲を新たにしました。

式後も、地域貢献活動を続ける決意を新たにし、さらなる活躍が期待されています。

【協働事業提案制度★行政提案 大募集！】

行政職員向け

地域の課題を市民と一緒に解決しませんか？

「協働事業提案制度」では、市が課題やアイデアを提示し、市民団体と協力して実施する事業を募集しています！特に進めにくい事業に協働の力で前進できるチャンスです。「これなら実現できるかも！」というテーマがあれば、ぜひ提案してください！

心当たりのある事業があれば、担当が直接伺ってご相談させていただきますので、お気軽にご連絡ください。

小さな気づきが、大きなまちの変化につながります！
皆さんのアイデアをお待ちしています！



ヤマビスカッチャのイラスト



画像は生成AIにおけるイメージです

.....◆編集後記◆.....
今号もご覧いただき、ありがとうございます！「NPO×企業×市民 交流パーティー2026」や「協働事業提案制度」など、地域づくりに向けた新たな取り組みが進んでいます。市民と行政が手を取り合い、共に作り上げる未来が楽しみです。引き続き、皆様のご参加とご提案をお待ちしています！
.....